



たった一人のためにでも、世界をつなげたい。

CWS JAPAN

Church World Service

NEWSLETTER No. 40



2020年1月発行

ベトナム防災事業が日越交流の記念行事で取り上げられました！

1月12日、自民党二階幹事長を筆頭とした1000名を超える代表団がベトナム・ダナンを訪れ、日越の更なる協力・交流の促進を確認しました。同時に新案件のMoU交換式が行われ、当団体が外務省NGO連携無償資金協力にて来月より開始する「チエムホア県災害レジリエンス向上事業」も取り上げて頂きました。事業地トゥエンクアン省のベトナム政府人民委員会の代表2名も参加され、CWS Japan、CWS Vietnam、そしてトゥエンクアン省の人民委員会が事業開始を前に親睦を深める場ともなりました。

本事業の目的は、洪水・土砂災害被害が多発するトゥエンクアン省チエムホア県において、地方政府のリスクアセスメント並びにコミュニティの自主防災計画策定支援の能力強化を通じて、地域の包括的な災害対応能力を向上させることです。そのために、ハザードマップ作成、コミュニティ防災マップ作成、そして自主防災計画策定を軸に活動を進めていきますが、これら活動により、コミュニティは科学的な情報に基づき地域内の危険個所を特定し、リスク軽減策がとれるようになります。また、地方政府はコミュニティの防災活動を効果的に支援できるようになります。結果、平常時からコミュニティの防災意識が高まり、災害発生時の人的・経済被害を低減させることが期待できます。

日本が度重なる被災経験により学んだ教訓や技術をベトナムへ積極的に移転し、より安全・安心な社会へ寄与していくことをミッションに、来月より本事業に取り組んで参ります。

(文：事務局長 小美野 剛)

(日越協力覚書署名・交換式での様子。)

左：CWS Vietnam代表、中央：CWS Japan事務局長、右：トゥエンクアン省委員会の代表者)



いつもCWS Japanの活動に温かいご支援、ご理解をいただき、ありがとうございます。

Facebook
twitter
instagramでも
情報発信しています！

次のページを
ご確認ください□

特定非営利活動法人CWS Japan

〒169-0051

東京都新宿区西早稲田2-3-18

日本キリスト教会館25号室



public@cwsjapan.jp



03-6457-6840

アフガニスタン地域防災力向上事業評価会議

2017年からアフガニスタン（ナンガハール、ラグマン県）において、3年間続いた標記事業が2月初旬に終了を迎えるにあたり、第三国であるタシケント（ウズベキスタン）にて1月8日～10日の3日間、事業の評価会議を開きました。日本側からは、CWS Japanスタッフ2名と協力会社である国土防災技術株式会社から日本人専門家2名、アフガニスタン側からは、現地パートナー団体であるCommunity World Service Asiaのプロジェクトスタッフ、対象地域住民を代表する青年達、政府関係者、国会議員、ジャーナリストから成る計10名の参加者が出席しました。



（地域防災ガイドラインの運用についてグループワークで議論する前のブリーフィング）

今回の会議では、3年間の事業成果を振り返り、各成果物（ハザードマップ、防災マップ、地域防災ガイドライン）の最終化と来年度開始に向け準備中である同プロジェクトフェーズ2についての協議が主な議題でした。

それらの協議の合間に、女性ジャーナリストの参加者からこれまでのプロジェクト成果をいかにしてメディアを活用し、広く国民に普及啓発していくかについて意見を出してもらったり、また、女性国会議員からアフガニスタンの法案策定プロセスについて講義もしていただくことができました。その学びから、当初、フェーズ2の活動内容の一つとして提案していた防災に関する法整備への支援よりもむしろ、まだアフガニスタンに存在しない災害別に特化したポリシー（方針・政策）策定に対して、政府を支援していくことの方が有効なのではないかという結論にいたりしました。

3年前の事業開始当初、パートナー団体スタッフと共に、ハザードマップ作りのイロハから始めた頃を思うと、3年を経て技術を習得し、自分達の力で現場踏査し、等高線に格闘しながら危険警戒区域を設定していく彼らが大変頼もしく見えました。

（文：プログラム・マネージャー
牧 由希子）



CWSJapan



@Japan_CWS



cws_japan

日々の活動や事業の詳細や支援先の様子などを写真(ときどき動画)でお伝えしています！

👉[ロゴをクリック](#)👈